

9月1日は

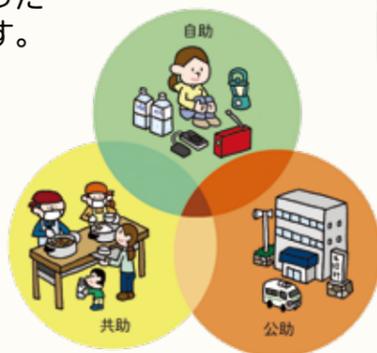
防災の日

問合せ 防災安全課 ☎32-1275 ID1078

令和6年1月1日に発生した能登半島地震は甚大な被害をもたらしました。8月8日には宮崎県で震度6弱を観測する大きな地震が発生したことを受けて、気象庁が「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」を発表しました。南海トラフ地震の発生時には、稲沢市内の広範囲で液状化の被害が想定されます。

また、初夏から秋にかけては台風や前線の影響で、大雨・洪水・暴風といった災害が発生しやすい季節です。

災害に立ち向かうためには、一人一人が自ら取り組む『自助』、地域や身近にいる人同士が助け合って取り組む『共助』、国や地方団体などが取り組む『公助』が重要です。



災害発生時は電気やガス、水道などのライフラインが止まってしまう恐れがあります。

ライフラインが止まっても自力で生活できるよう、日頃の備えについて3ページのチェックリストを参考に今一度見直してみましょう。



食料などの備蓄は期限が来たら食べ、買い足すことで常に一定量を確保しましょう

大災害に備えて取り組んでいる日常の災害対策

自治体の災害情報メールなどに登録している	82.1%
停電時に作動する懐中電灯などを準備している	78.4%
寝ている場所の付近にタンスなどを設置しない	69.5%
食料・飲料水、日用品、医薬品などを準備している	68.5%
地震保険に入っている	63.7%
耐震性のある家に住んでいる	60.7%
よく使う部屋に転倒しそうな家具は置いていない	58.3%
家の避難経路を確保している	56.8%
貴重品をすぐに持ち出せるようにしている	48.2%
家具・家電などを固定し、転倒などを防止している	43.5%

内閣府実施「地震災害対策の現状調査に係る住民アンケート」より

災害の「備え」チェックリスト

非常用持ち出し袋

(避難の際に持ち出すもの)

- 水
- 食品（ご飯（アルファ米など）、レトルト食品、ビスケット、チョコ、乾パンなど、最低3日分）
- 防災用ヘルメット・防災ずきん
- 衣類・下着
- レインウェア
- 紐なしのズック靴
- 懐中電灯 ※手動充電式が便利
- 携帯ラジオ ※手動充電式が便利
- 予備電池・携帯充電器
- マッチ・ろうそく
- 救急用品（ばんそうこう、消毒液、常備薬など）
- 使い捨てカイロ
- ブランケット
- 軍手
- 洗面用具
- 歯ブラシ・歯磨き粉
- タオル
- ペン・ノート



●感染症対策にも有効です

- マスク
- 手指消毒用アルコール
- 石けん・ハンドソープ
- ウェットティッシュ
- 体温計

●一緒に持ち出しましょう

- 貴重品（通帳、現金、パスポート、運転免許証、病院の診察券、マイナンバーカードなど）

子どもがいる家庭の備え

- ミルク（キューブタイプ）
- 使い捨て哺乳瓶
- 離乳食
- 携帯カトラリー
- 子ども用紙オムツ
- お尻ふき
- 携帯用お尻洗浄機
- ネックライト（首に掛けて使うライト）
- 抱っこひも
- 子どもの靴

女性の備え

- 生理用品
- おりものシート
- サニタリーショーツ
- 中身の見えないごみ袋
- 防犯ブザー／ホイッスル

高齢者がいる家庭の備え

- 大人用紙パンツ
- 杖
- 補聴器
- 介護食
- 入れ歯・洗浄剤
- 吸水パッド
- デリケートゾーンの洗浄剤
- 持病の薬
- お薬手帳のコピー

備蓄品

(家に備えておくもの)

- 食料や水（最低3日分、できれば1週間分×家族分）
- 生活用品（ティッシュ、トイレトーパー、ラップ、ゴミ袋、ポリタンク、携帯用トイレなど）

内閣府では、被災者・災害体験者に「もし、災害の1日前に戻ることができたら、あなたは何をしますか」とインタビューし、さまざまな教訓をエピソードにまとめる「1日前プロジェクト」を行っています。被災者の本音は日頃の準備の参考にもなりますので、ぜひご覧ください。

